

## 第6部

# 経済・産業

## 第1章 経済成長率・県内総生産

- 82 経済成長率
- 83 県内総生産(名目・実質)
- 84 1人当たり県(国)民所得
- 85 1人当たり県(国)民所得の構成割合
- 86 県民雇用者報酬と県内・県外比率

## 第2章 事業所・従業者数

- 87 産業別事業所数
- 88 産業別従業者数
- 89 工場・研究所の立地件数
- 90 事業所数と従業者数
- 92 産業別(1次・2次・3次)就業者数

## 第3章 労働

- 94 男女・年齢別就業率
- 95 高等学校卒業者の県内就職率
- 96 県外就業率
- 98 就業地別有効求人倍率
- 99 外国人労働者数、外国人を雇用する事業所数
- 100 労働時間(事業所規模5人以上)
- 101 賃金(事業所規模5人以上)
- 102 パートタイム労働者比率(事業所規模5人以上)

## 第4章 工業

- 103 製造業の従業者規模別事業所数、従業者数、製造品出荷額等(全事業所)(従業者4人以上)
- 104 製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移
- 106 製造業の産業中分類別事業所数、従業者数(全事業所)

- 107 産業中分類別製造品出荷額等(全事業所)
- 108 1事業所当たり製造品出荷額等(全事業所)
- 109 従業者1人当たり製造品出荷額等(全事業所)
- 110 品目別製造品出荷額等の全国シェア(全事業所)
- 111 従業者1人当たり付加価値額(全事業所)

## 第5章 商業

- 112 商業(卸・小売業別)事業所数、従業者数、年間商品販売額の割合
- 114 県民1人当たりの年間商品販売額(小売業)
- 115 事業所数、従業者数、年間商品販売額(小売業)
- 116 産業小分類別の年間商品販売額
- 118 事業所数、従業者数、年間商品販売額(卸売業)

## 第6章 観光

- 119 観光客数
- 120 観光消費額
- 121 年間宿泊者数
- 122 月別宿泊者数
- 123 外国人訪問客数
- 124 外国人宿泊者数
- 125 旅館・ホテル客室数
- 126 国際会議開催件数

## 第7章 農業・水産・畜産業

- 127 農家数
- 128 認定農業者数
- 129 耕地面積
- 130 荒廃農地面積
- 131 農業産出額
- 132 主要家畜飼育頭羽数
- 133 協定直売所「地の味 土の香」
- 134 県内養殖生産額と総漁獲量

## 第8章 林業

- 135 森林面積及び森林蓄積
- 136 市町村別森林面積
- 137 主要部門別素材生産量
- 138 間伐面積



# 農家数

## 農家数は5年間で14.2%減少



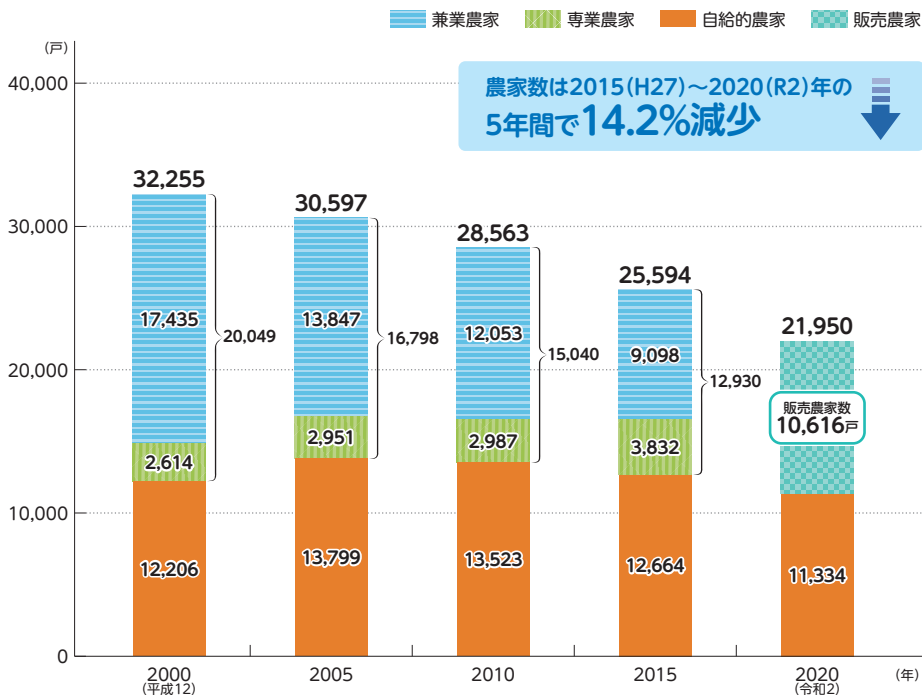
2020 (R2) 年2月1日現在の農家数は2万1,950戸で、2015 (H27) 年と比べ3,644戸、14.2%減少しました。

販売農家は1万616戸(総農家に占める割合48.4%)で、2015 (H27) 年の1万2,930戸より17.9%減少しました。また、自給的農家は1万1,334戸(同51.6%)で、2015 (H27) 年の1万2,664戸より10.5%減少しました。

- **農家**…経営耕地面積が10a以上又は農産物販売金額が年間15万円以上の世帯。
- **販売農家**…経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が年間50万円以上の農家。  
(専業農家+兼業農家)
  - ・専業農家…世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家。
  - ・兼業農家…世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家。
- ※ 2020年農林業センサスから、専業及び兼業農家の調査項目が削除となったため、販売農家のみの数値を掲載している。
- **自給的農家**…経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家。

## 農家数の推移

資料：農林水産省「農林業センサス」





## 認定農業者数

認定農業者数は毎年1,000人前後で推移してきたが  
減少傾向

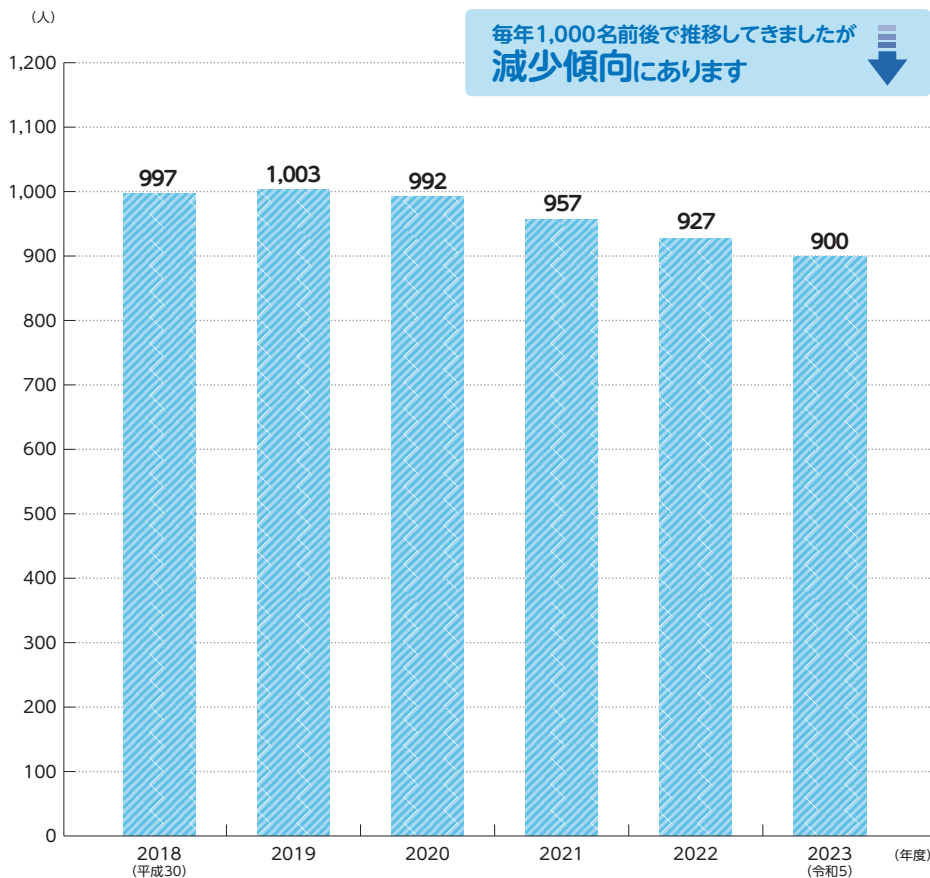


2023 (R5) 年度における県内の認定農業者数は900人であり、2022 (R4) 年と比べて27人減少しています。

5年後の農業経営の目標と取り組み内容を記載する「農業経営改善計画」を作成し、市町村、県又は国が認定した農業経営者を「認定農業者」と呼んでいます。県では、認定農業者に対して農業経営改善計画の目標達成に向けた支援や指導等を行っています。

### 認定農業者数の推移

資料：県担い手・農地マネジメント課





## 耕地面積

### 耕地面積は5年前に比べ7.4%減少

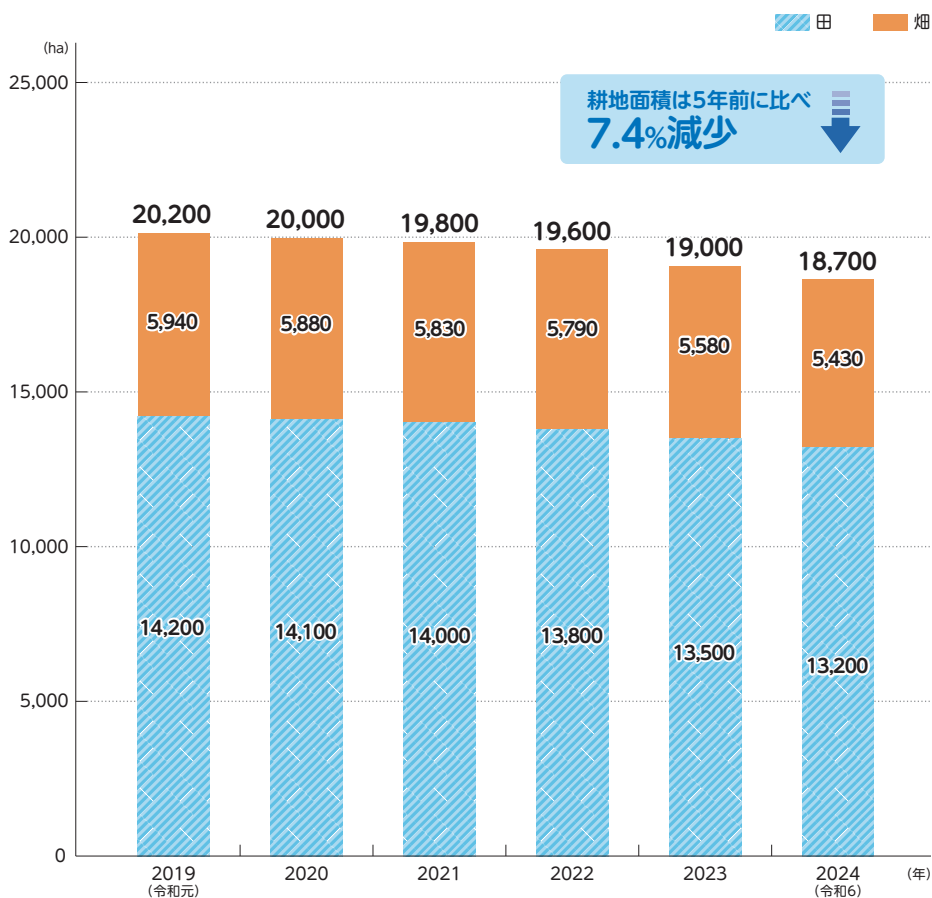


2024(R6)年の耕地面積は1万8,700haで、5年前の2019(R元)年と比べ1,500ha(7.4%)減少しました。

2024(R6)年の耕地面積1万8,700haのうち、田は1万3,200ha(70.6%)、畑は5,430ha(29.0%)となっています。2019(R元)年に比べ、田は1,000ha(7.0%)減少し、畑は510ha(8.6%)減少しました。

#### 耕地面積の推移

資料：農林水産省「作物統計」



※四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない。



# 荒廃農地面積

## 荒廃農地面積は、5年前に比べ17.5%増加



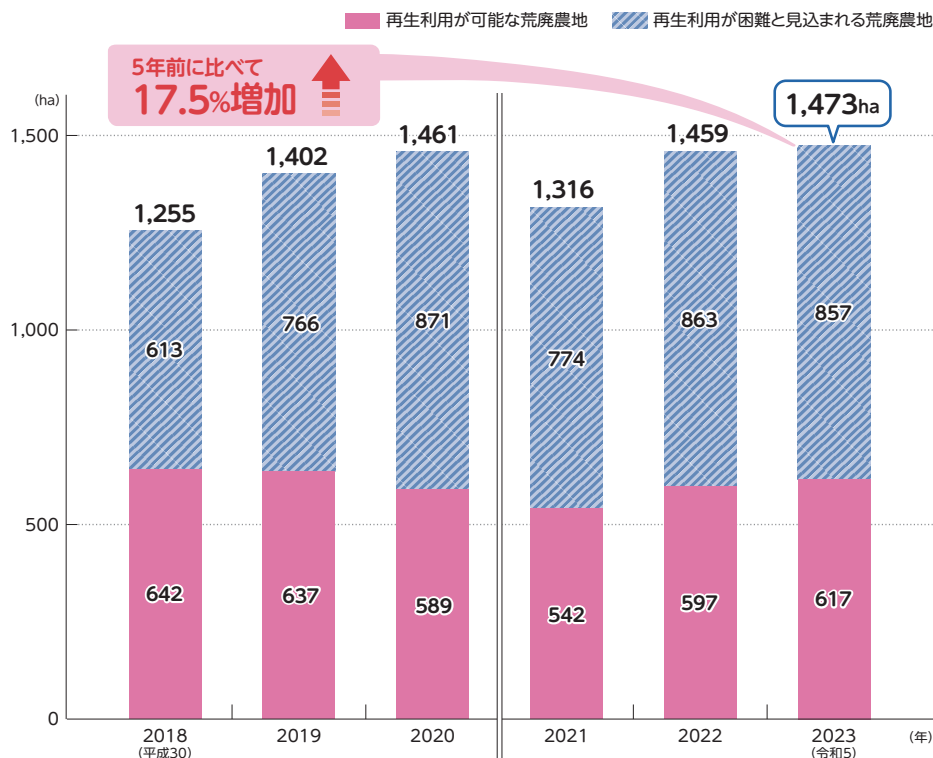
2023(R5)年の荒廃農地面積は、1,473haで、5年前の2018(H30)年と比べ218ha(17.5%)増加しました

2023(R5)年の荒廃農地面積1,473haのうち、再生利用が可能な荒廃農地は617ha(41.9%)、再生利用が困難と見込まれる荒廃農地は857ha(58.2%)となっています。再生利用が可能な荒廃農地は2018(H30)年に比べ、25ha(3.9%)減少し、再生利用が困難と見込まれる荒廃農地は244ha(39.8%)増加しました。

●荒廃農地…現に耕作されておらず、耕作の放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地。

### 荒廃農地面積の推移

資料：農林水産省「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」



※1 四捨五入の関係で、計が一致しない場合がある。

※2 2021(R3)年以降の数値については、ドローンの導入等による調査精度の向上等の影響により特に再生利用が困難と見込まれる荒廃農地が減少したため、2020(R2)年度までとの合計値の単純比較はできない。



## 農業産出額

## 農業産出額は413億円で、全国45位



2023 (R5) 年の農業産出額は、413億円 (全国45位) で、2018 (H30) 年と比較して6億円 (1.5%) 増加しました。

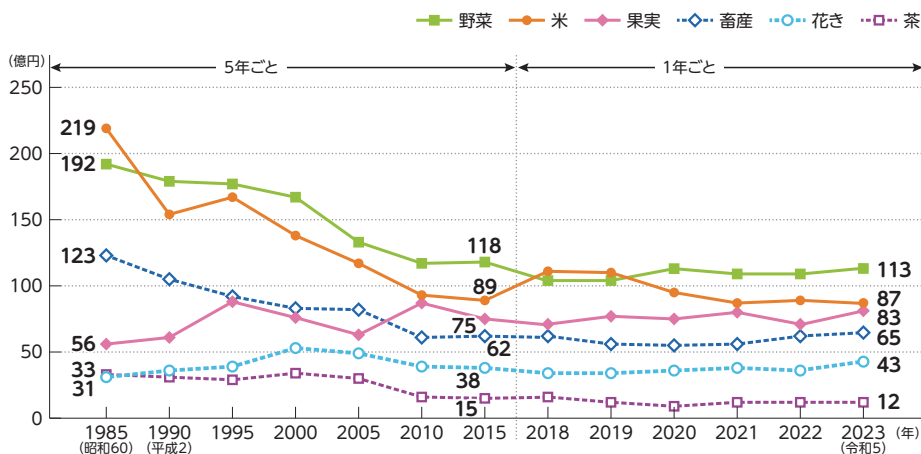
2023 (R5) 年の農業産出額を部門別にみると野菜 (113億円)、米 (87億円)、果実 (83億円)、畜産 (65億円)、花き (43億円)、茶 (12億円) の順となっています。

品目別では、柿 (65億円)、いちご (40億円)、生乳 (29億円)、鶏卵 (18億円)、ほうれんそう (14億円) となっています。なかでも柿の収穫量は全国2位、ダリア球根、二輪ギク、小ギク (夏秋期) の生産量は全国1位となっています。

●農業産出額…(品目別生産量×品目別農家庭先販売価格)の合計

## 農業産出額の推移

資料：農林水産省「生産農業所得統計」



総産出額:413億円 (2023 (R5) 年)

柿収穫量 全国2位

その他 10億円 (2.4%)

茶 12億円 (2.9%)



総産出額:9兆4952億円 (2023 (R5) 年)

全国と比べ果実の占める割合が高い

花き 3,522億円 (3.7%)

茶 730億円 (0.8%)





# 主要家畜飼育頭羽数

## 主要家畜飼育頭羽数は減少傾向



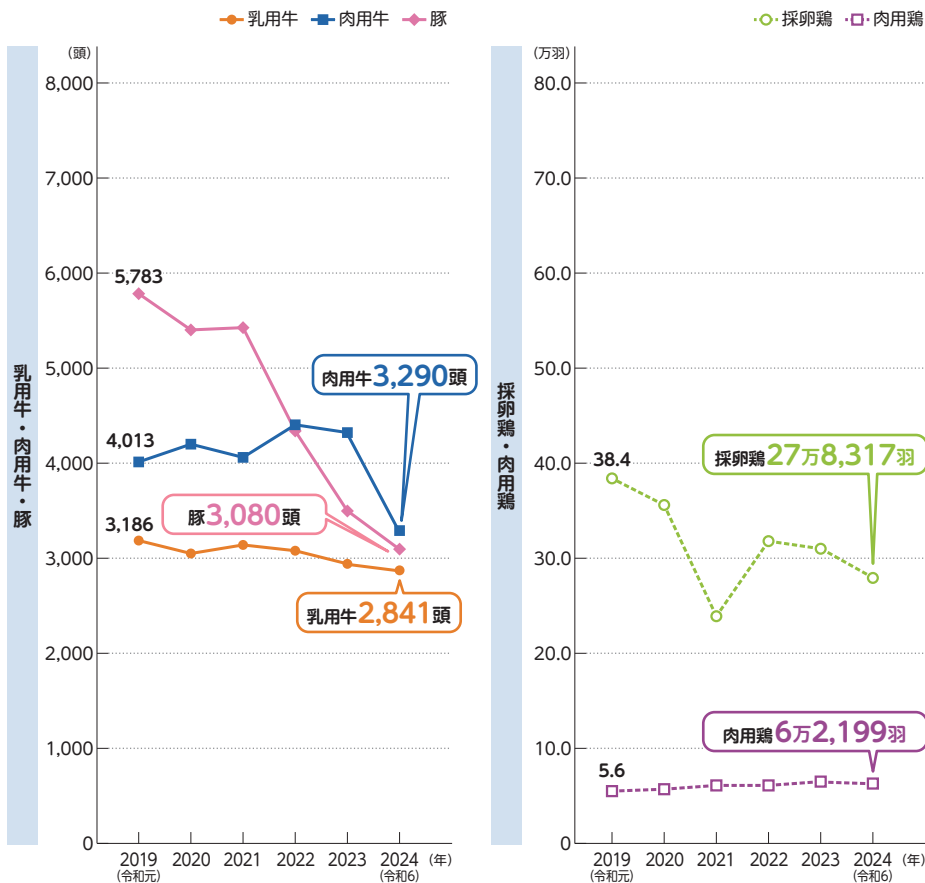
2024(R6)年における主要家畜飼育頭羽数は乳用牛が2,841頭、肉用牛が3,290頭、豚が3,080頭、採卵鶏が27万8,317羽、肉用鶏が6万2,199羽となっています。

2024(R6)年の主要家畜飼育頭羽数を2019(R1)年と比較すると、乳用牛は345頭(▲10.8%)、肉用牛は723頭(▲18.0%)、豚は2,703頭(▲46.7%)減少しました。

また、採卵鶏は10万6,122羽(▲27.6%)減少し、肉用鶏は5,700羽(10.1%)増加しました。

## 主要家畜飼育頭数の推移

資料：県畜産課「奈良県家畜家さん規模別戸数および飼養頭羽数」





# 協定直売所「地の味 土の香」

協定直売所「地の味 土の香」の売上額は、前年度(令和5年度)より増加



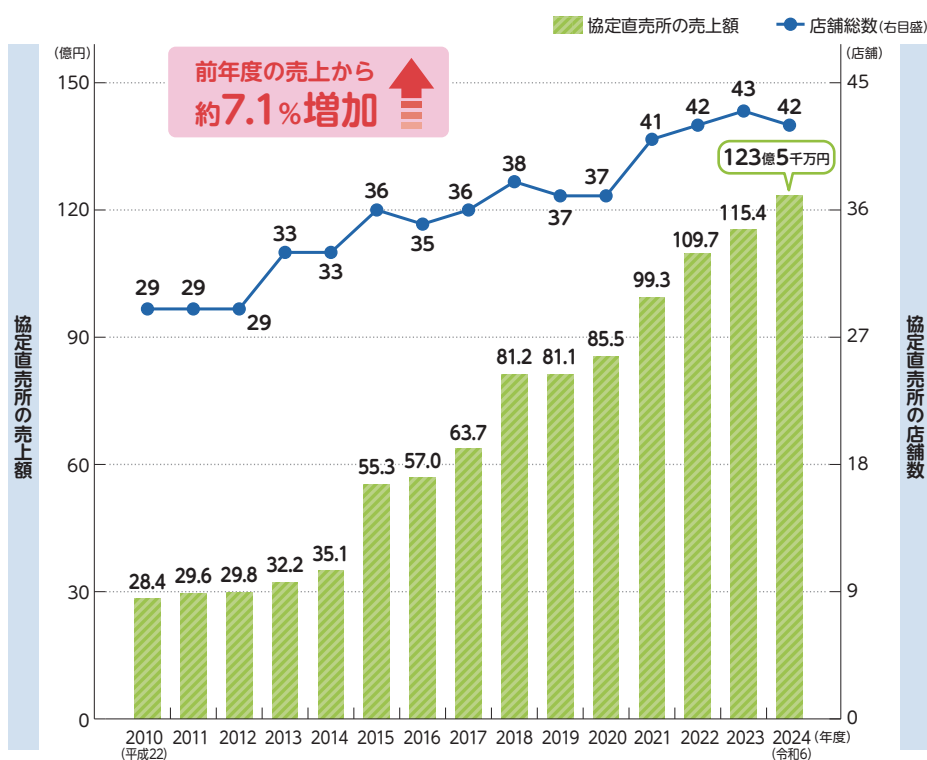
協定直売所「地の味 土の香」の売上額は、2024(R6)年度で123億5千万円となり、前年度から約7.1%増加しました。

協定直売所数は、42店舗となりました。協定直売所と県は、協働で農産物直売所のブランド化や、直売所を拠点とした地域活性化に取り組んでいます。

●「地の味 土の香」とは…安全・安心でおいしい県産農産物と、大和伝統の味、こだわりの食文化をお届けすることを目的として、県と協定を交わした県内の農産物直売所のネットワークブランドのこと。(平成20年発足)

## 協定直売所の店舗数および売上額の推移

資料：県豊かな食と農の振興課「農産物直売所運営に関する調査」



※奈良県内の「地の味 土の香」直売所一覧は、右記のサイトをご参照ください。







# 県内養殖生産額と総漁獲量

## 2024(R6)は、養殖生産額、総漁獲量ともに増加



養殖生産額は、2023(R5)年以降回復し、増加傾向です。

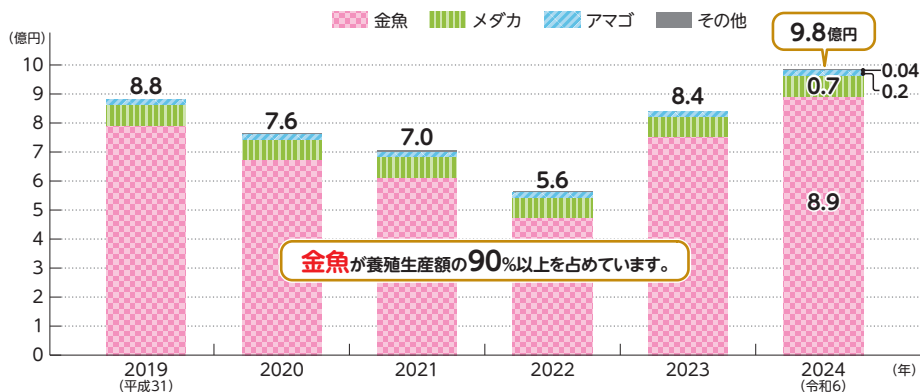
総漁獲量は、2019(H31)年から2024(R6)年にかけて増加傾向です。

2024(R6)の養殖生産額を魚種別に見ると、観賞魚では金魚(8.9億円)が、食用魚ではアマゴ(0.2億円)が最も多くなっています。

2024(R6)の総漁獲量を魚種別に見ると、アユ(44t)、アマゴ(27t)、フナ(51t)、ワカサギ(1t)、ニジマス(2t)となっています。

### 養殖生産額

資料：県農業水産振興課



### 総漁獲量

資料：県農業水産振興課

